

平成 21 年 5 月吉日

関係各位

NPO地域精神医療ネットワーク

藤原 修一郎

大滝紀宏

山田芳輝

第 1 回神奈川県南部・子どものメンタルヘルスを考える会

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、この度『神奈川県南部・子どものメンタルヘルスを考える会』を下記要領にて開催することといたしましたのでご案内申し上げます。

私達 NPO 地域精神医療ネットワークでは、標記のとおり横浜南部・横須賀～鎌倉・三浦と神奈川県の南部エリアを中心に『子どものメンタルヘルスを考える会』を立ち上げることを企画いたしました。同地域で、児童の精神科外来を持つ湘南病院(精神科 大森武、小松崎圭)、汐入メンタルクリニック(こども発達外来 阿瀬川聡美)、福井記念病院(精神科 辛島文)より発起人が集まり、児童精神科領域での連携を深める会合を開きたいと思っております。そのため、医師、コメディカルのみならず小中高と現場でご活躍の教育関係の方々、ないし児童相談所をはじめとする福祉領域等でご活躍の方々皆様に幅広くご参集いただきたいと考えております。

児童の精神科は、良い意味でも悪い意味でも世間の流行の影響を少なからず受ける領域です。10年前はAD/HDが流行り、少し前では広汎性発達障害でした。メディアが繰り返し取り上げ世間の話題となり、わが子にその恐れがないかと親御さんが子供を連れて精神科を受診される機会が増えました。そうした時流は、今落ち着きを取り戻しつつあります(流行に翻弄されやすい分、児童精神科とはまだまだ黎明期にある分野なのかもしれません)。しかし、だからこそ私たちは、一時の流行でない不易の部分を見据えて、基盤となる知見を積み上げ、子どもたちを支援していくスキルを向上させていかなくてはいけないのだらうと思っております。さらに、ここ神奈川の南部方面では児童に関する医療・教育・福祉のネットワークが、横浜市や川崎市に比べて、依然確立しているとは言いがたいのも事実です。今回このような会を立ち上げさせていただいた趣旨は、関連各領域の皆様方で集まる機会を持ち、お互い顔を合わせ、情報と意見の交換を行い共に知見を集積して、これからのネットワーク作りには是非皆様方に立ち会っていただければと存じます。

第 1 回目として、県立こども医療センターの新井卓先生をお招きして広汎性発達障害を中心に、改めて医療の行う支援とは、というテーマでお話頂き、皆様とご一緒に考えていきたいと思っております。ご多用中とは存じますが、なにとぞご出席賜りますようお願い申し上げます。

日時:平成 22 年 7 月 3 日(土) 14 時～16 時 30 分

場所:湘南病院 横須賀市鷹取 1-1-1(京急追浜駅より徒歩 1 分) Tel:046-865-4105

鷹取(タカトリ)病棟 4 階大会議室

第 1 部: 14 時～15 時 30 分 講演:『精神科医療で関わる発達障害症例を考える』

講師:神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科 新井卓先生

第 2 部: 15 時 30 分～16 時 30 分 今後の方向性など意見交換

参加費:500 円